

台湾 豚で口蹄疫発生 韓国では依然として小規模な発生が継続

台湾における口蹄疫(0型)の発生について

経過: 3月22日、澎湖諸島からと畜場へ移送された豚30頭で水疱性病巣を発見。

3月23日、出荷農場を調査したところ、110頭の豚が同様の水疱性病巣を示しており、飼育豚全頭(999頭)を直ちに淘汰。

防疫措置: 農場、と畜場の両方で移動制限、清掃、消毒を実施。現在疫学調査が行われているが、近隣の農場では同様の臨床症状を示す動物は見つかっておらず、調査終了まで澎湖諸島内の全ての偶蹄類の移動制限を実施。

農場へウイルスを侵入させないポイント

自分の農場に入る際も、靴、持ち込むものの消毒の徹底

外部からの人や車を農場に入れない

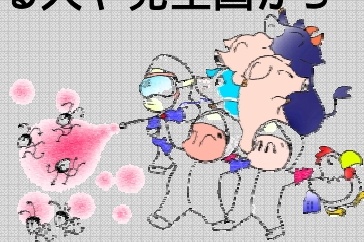
農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒

踏込消毒槽、専用の作業着及び長靴を設置

発生国に滞在し、ウイルスを伝播する可能性のある人や発生国から輸入された物を農場に近づけない。渡航は控える。

家畜の導入は、状況を見据えて、より慎重に
(導入した場合は、隔離観察を徹底) 等

毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。



日本は2月5日に「口蹄疫清浄国」に復帰しました。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp